

黙って られない

福祉 トピックス

防衛費強化の増税に65%が不支持 若年層では4人に3人が

共同通信が昨年12月17・18日に実施した世論調査で、岸田首相が表明した防衛力強化のための増税について、「支持しない」が64.9%で、「支持する」は30.0%にとどまった。「支持しない」は若年層（30代以下）で75.7%と

最も高く、「支持する」は21.1%だった。5年間の防衛費を1.5倍超の約43兆円に増額する方針についても、反対53.6%が賛成39.0%を上回った。首相の説明について「十分だ」は7.2%で、「不十分だ」が87.1%と圧倒した。

35人が参加した岩手福祉労組の盛岡市大通・野村證券前で署名宣伝（2022.11.19）



昨年9月からとりくみを広げている「23春闘福祉職場で働くみんなの要求アンケート」の中間集計（回答1355人）がまとまりました。10年前との比較で、心身の疲労が極めて強まっていることが浮き彫りになりました（記事中はすべて最終結果との比較）。物価高騰も襲いかかるなか、福祉職員の賃上げと増員にむけて、もう黙ってはいられません。声をあげ、賃上げ・増員を実現する年にしていましよう。

2023年

賃上げ・増員実現へ 声をあげよう！



「やりがいを感じる」
過去10年を維持

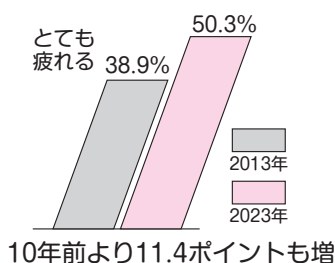
「今の仕事」は、「とてもやりがいがある」21・8%、「やりがいがある」70・4%の合計は92・2%で、過去10年の最終結果と変わらない状況維持しています（「やりがい」と違った）5・6%、「今の仕事がいやだ」2・1%。

一方で、「仕事をやめたいと思ったことはありますか」は、「いつも思っている」13・8%は過去最高で、「時々思う」57・5%を合わせると、7割超に。「あまり思わない」22・9%、「全く思わない」5・8%にとどまっています。

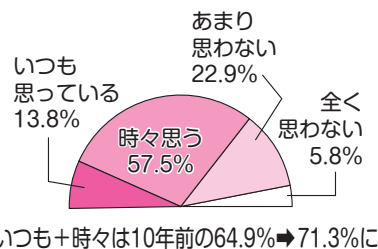
「とても疲れる」
10年で大幅増加

「仕事での心身の疲れ」は、「とても疲れる」50・3%、「時々疲れを感じる」44・8%、「あまり感じない」4・6%、「全く感じない」0・3%

仕事での心身の疲れは？



仕事をやめたいと思ったことは？



アンケートに寄せられた声(一部)

●20代・北海道・保育

3歳の子どもの保育料が終わるが、長かったし高かった。生活費が安定せず、お金を借りた月もあった。使った有給休暇のほとんどは子どもの病気。子育てにやさしい制度と援助を考えてほしい。

●40代・福島・障害福祉（通所）

賃金が低いので、子どもが大きくなると学費が大変。娘が保育士になりたいと言った時に、賃金を考えると応援したくてもできなかった。自分の仕事を否定しているようでつらかった。どうか、処遇を改善してほしい。

●40代・大阪・障害福祉（入所）

コロナ禍でいつクラスターになってもおかしくない。ストレスを発散するにも、イベントなどに行くことには不安がある。賃金が低くて心のゆとりがなく、ストレスばかり感じる。

「福祉職場で働くみんなの要求アンケート」中間集計で深刻さ限界に

まんがタイム



高宮信一・作

福祉の風

国連障害者権利委員会は、障害者権利条約を日本が批准して初めて実施に関する審査を8月

実施されていません。介護分野では、ICTなどの活用と引き換えにした配置基準の緩和と検討されています。政府は、防衛費の大幅な増額を最優先にすすめるようとしています。

賃上げ・増員へ
黙ってられない

春闘で法人にベースアップ（基本給の引き上げ）増員を求めつつ、国に大幅な改善の実現を迫っていくことが重要です。保育分野では、1歳・4歳・5歳児の保育士配置基準を引き上げるとした政府の政策は「財源」を理由に先送りされ続け、

福祉のなかま 今月の主張

職員がコロナに感染したら、1日6回だった排泄介助が3回になり、食事もうつ食の非常食対応になった特別養護老人ホーム。通園バスに取り残れた

今すぐ、人権が守れる職員配置の実現を

守れない福祉職場が普通存在している。新聞記者に「配置基準の見直し検討」を問われた加藤厚生労働大臣は「配置改善は重要な課題。残念ながら未実施となっている

『0・3兆円超』の質の向上分には、1歳児や4・5歳児に対する職員が倒れて亡くなった障害者グループホーム。利用者の人権も、福祉労働者のいのちも

訴え続けてきた福祉労働者の声は響かなかったのか。介護給付費分科会では、見守り機器等の導入による夜間の職員配置基準緩和など、業務軽減ではない「人減らし」政策が検討されている。また、4・5歳児を対象に保育士増員の補助がされるというが、対象が限定的なうえに、配置基準は変えないという。福祉保育労は、制度・政策の基本要求に配置基準の引き上げと2人以上の配置を掲げている。私たち福祉労働者が、現場実態をもっと発信し、業界団体や職能団体、利用者・家族なども共同して、人権が守れる職員配置をという世論をくり、政策を転換させる主体者になろう。

- 1月**
- 14日(土) 第59回中央委員会 (全労連会館ホールとオンラインを併用) ※15日まで、統一要求など23春闘方針を論議し決定します。
 - 20日～2月3日…要求討議集中ゾーン
 - 27日～2月10日…統一要求集中提出ゾーン
- 2月**
- 15日(水) 「要求実現まであきらめないぞ!」 オンライン集会
- 3月**
- 9日(木) 黙ってられない! 3.9福祉職員賃上げ・増員アクション ※増員や賃上げなどを求めて、各地でいっせいに立ち上がる行動日です。

とりくみのお知らせ

スッキリ! 組合用語

① ベースアップ (ベア)

4月などに年1回基本給が上がる定期昇給と違って、給与表が改定され、全体の基本給が引き上がることです。たとえば、9000円のベースアップが実施されれば、基本給の1年目が17万円であれば17万9000円に、20年目が24万円であれば24万9000円などに引き上げられます。国の処遇改善案は、手当て支給されている職場が大半です。

それでも、22春闘では組合の要求もあってベースアップをおこなった法人も出ています。働きつつけていくうえで、一時金や退職金の算定基礎になる基本給の引き上げを法人と国に求めることが欠かせません。

定期昇給や手当増額よりもベースアップの方がずっと得! なんだね



▶【中央】 土田 昭一さん
中央執行委員長 (中央本部)



現状を変えるために、一人ひとりがまず一歩。要求実現に向けて、みんなで一歩。全国のなかまと歩をすすめ、活動強化の1年に!

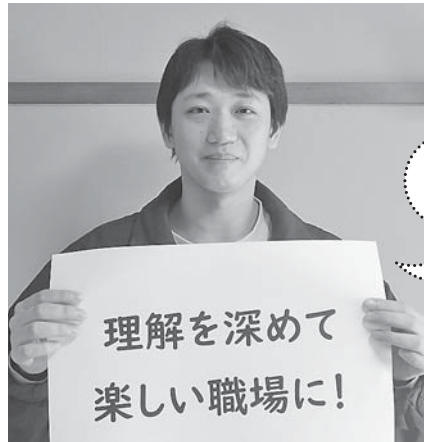


さまざまな世代や分会で協力したり交流したりしながら、楽しく組合活動ができるようにしたい!



▲【福岡】 廣田 菜摘さん
若竹分会 (保育園)

▶【島根】 矢野 皓大さん
ほっほ分会 (放課後等デイサービス)



ニーズのある職種なので、放課後等デイサービスの必要性や理解を深めてもらい、職員も楽しく働ける職場づくりをしていきたい。



子どもたちの豊かな発達を守りたい。そのために、働く仲間を守りたい。継続して活動をしていきたいと思います。



【京都】 野崎 有沙さん
パーチェ分会 (児童発達支援事業所)

働やすい、働き続けられる職場を! 愚痴を要求に! 一人ひとりの思いを大事に、職場を変え、国の制度を変えていこう。粘り強く、諦めないで。



【東海】 山本 美紀子さん
めいほく高齢部分会 (デイサービス)



私のチャレンジ!

新年が明けました。2023年に、組合活動で変えていきたい・チャレンジしたいメッセージを、11人の組合員に掲げてもらいました。飛躍にむけて、力をあわせて実現させていきましょう。みなさんは、今年どんなことにチャレンジしたいですか。



未来をつくる子どもたちと私たちの大切な保育園を守るために、仲間と手をつないで、職員配置基準の引き上げと処遇改善を実現したい。



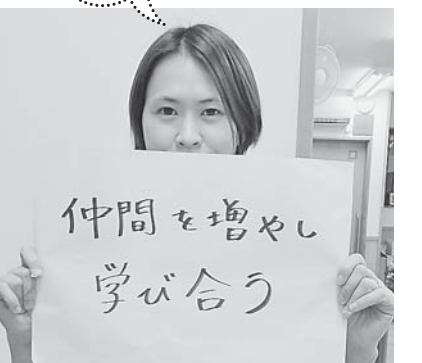
▲【群馬】 長谷川 千鶴さん
つくしんぼ分会 (保育園)

よりよい未来のために、日々の学びを大切に、ともにたかってくれる仲間を一人でも多く増やすことのできる飛躍の一年にしたいです。



▲【長野】 宮田 亮さん
ひまわり分会 (保育園)

保育情勢や働く環境などについて、組合の仲間と共に学びあい、一緒に声を上げていきたいです!!



▲【神奈川】 荒井 亜沙乃さん
みどり分会 (保育園)



▲【東京】 町田 和康さん
なかよし保育園分会 (保育園)

配置基準の引き上げをめざして、執行委員長を務めているなんぶ支部で学習会を企画して、仲間を増やすとりくみにも生かしていきたいと思っています。



基調報告で23春闘にむけた課題を語った澤村書記長

23春闘討論 (スタート) 集会

団体交渉を軸にした経験報告を力に
統一要求案や職場での課題を討論

11月26・27日 東京都内の会場とオンライン併用

11月26・27日、福祉保育労23春闘討論(スタート)集会を東京都内の会場とオンラインの併用で開催しました。21地方組織と執行部の計53人が出席し、かつてない物価高騰の中で迎える23春闘にむけた論議をスタートさせました。シンポジウム「22秋闘の到達と教訓、23春闘の課題」では、福島支部・滋賀支部・広島支部の3人が報告。賃金削減などの提案に対して継続的に団体交渉を重ねてきた教訓、納得がいけない場合は妥結しないで協議をすすめてきた事例、団交で行き詰まった際に労働委員会を活用してきた経験などが語られました。質疑応答では、団交が労働条件決定のカギになるという基本があらためて強調されました。

統一要求と統一要求基準の項目が提案され、質疑応答のあと、グループ討論が翌日まで展開されました。10のグループで、統一要求・統一要求基準と職場要求、要求を実現させるために必要なことなどを出しあいました。「これだけは譲れないと思う要求を一致してつかむために、話することは不可欠。困難があるなかでも妥協せずに当たり前を主張できる強さをもほしいと思った」などの感想が寄せられました。統一要求項目などを含む23春闘方針は、1月14・15日の第59回中央委員会で、論議して決定する予定です。



小畑 雅子さん

全労連（全国労働組合総連合）議長

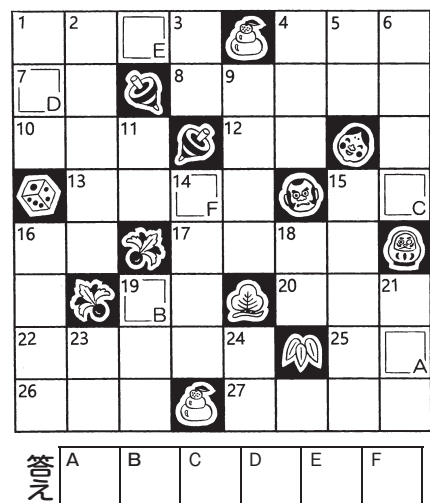


Myメッセージ

分会活動そのものが私の学校 仲間の力が要求実現の力に

40年前、小学校の教員で初任者だった私の一番の要求は、目の前の子どもたちと心を通わせる授業がしたいということでした。悩んでいる私に寄り添って、つかず離れずアドバイスを続けてくれたのが、分会の先輩たちでした。ある人は、ガリ版刷りだった学級通信の作り方を教えてくれ、ある人は、参考になる本を貸してくれ、ある人は、何時間でも私の話に付き合ってくれました。学習会もよく開いてもらいました。分会の活動そのものが、私の学校でした。その時から、私たち教職員組合の強い要求は、どの子にもゆきとどいた教育を保障するために、少人数学級を実現することでした。毎年毎年、教育全国署名を地域の父母・保護者の皆さんと協力して集め、少しずつ少しずつ地方から前進をつくらせてきました。ついに、国の責任で小学校全学年での35人学級が実現したのが2021年のことです。積み重ねた教育全国署名は、4億6990万2066筆。全国の教職員組合に結集する仲間の力が、要求を実現させる最も大きな力でした。

組合の力は、「働くことを支える仲間の力」だと思っています。今、急速に広がる「子どもたちにもう1人保育士を」の運動に連帯し、働く仲間の要求実現へ、全労連も力を尽くしていきます。



応募方法

答えと「福祉のなかま」の気になった記事の感想、近況などを必ず添えて、ハガキかFAX、メールで送付ください（地方組織・分会、氏名、住所明記）。紙面やホームページ等に掲載させていただきます。締切▶2月15日

発表▶2023年3月号

賞品▶正解者の中から5人の方に図書カード（1000円）進呈
宛先▶「福祉のなかま」編集部



【解き方】二重ワクの文字を、A～Fの順に並べてできる言葉はなに？

■ヨコの力

①正月遊びの道具、羽根と……
④「十筆」って読める？
⑦正月に家の前などに立てられるカド……
⑧正月にお供えする餅……
⑩とうふを冷や……で食べる

■タテの力

①初詣で授かる縁起物の矢……
②お相撲さんの感謝の言葉……です！
③とんぼが……を生む……
④幼児の代表的な玩具……
⑤糸を出して網を張る節足動物……
⑥テレビ番組の……率……
⑨外側から見た様子……
⑪コシヒカリ、あきたこまち……といへば……
⑭全国……支援で観光業は一息ついたかな……
⑮食後に使う人もいます……
⑯水上の穴釣りなどで釣れる魚……

⑫野暮（やば）の反対……
⑬星条旗は……合衆国の国旗

クロスワードパズル

⑮手紙の数え方……
⑯剛……投手……
⑰新聞の……漫画……
⑱矛盾は……とタテ……
⑳悪天候で壊れた箇所を応急……で仮修繕……
㉑行列の……はこちら……
㉒兄弟はより年が……
㉓外国産を国産だと……
㉔「……二十面相」……

⑬紙のリサイクル、……回収……
⑱直三足……するヒト……
㉑豪雪で鉄道の……証明を……
㉒浅い海の岩石などに付着している……ギンチャク……
㉓美しく変えること……

11月号の署名解説特集を読んで

お迎えに来た保護者に署名の協力をよびかけ

東海地本・まつかぜ分会 安藤 光枝さん

福祉保育労の国会請願署名は、保育の署名以上に大事だと思ってとりくんでいます。先日も、勤務が終わった職員が交替で、お迎えに来た保護者に声をかけて、署名の協力をお願いしました。職員の処遇改善は、保育職場で言えば直接子どもたちの人権をまもることにつながるの、保護者の方たちは署名をしてくれました。もっとたくさん集めて国を変えたいです。

若い人がベースアップを知らないのは…

大阪地本・こごせ福祉会分会 渡鍋 一也さん

賃金が上がらない国になった日本で、若い人はベースアップの言葉と意味を知らない人がほとんど。福祉職員の賃金が上がるしくみにならないと、この国の未来はあまりにも悲しい。今の日本に必要なのは軍事費の増額ではなく、労働者の賃金を上げて経済をよくする構造的なしくみだと思います。



何をもったの処遇「改善」策なのか

大阪地本・大阪福祉事業財団分会 泉谷 知志さん

政府は22年2月から処遇改善策を開始しました。しかし、福祉職員の賃金は全産業平均の4分の3…。この溝はいまだに埋まりません。何をもったの処遇「改善」策なのでしょう。岸田政権は増税することばかり考えず、国民の生活を守ることに目を向けてほしいです。福祉労働者も署名を広めて、現状や要求を伝えましょう。

職員が増えたら事務時間や休暇がとりやすくなる

大阪地本・コスモス分会 宮井 保代さん

保育園で働いています。事務仕事をする時間も工夫しながら作っていますが、全部できるほど時間をつくることができません。職員の数が増えたら、事務の時間や有給休暇もとりやすくなると思います。コロナに感染すると急な休みも入ってくる中、ギリギリで体制をまわしている時もあります。

共済の魅力は「ワンコイン共済」のほかにも

「我が家」の備えに火災共済を

近年の給付事例

落雷被害：一部焼損【宮崎】

電化製品の故障
住宅300□・家財150□
掛金年額 25,500円
給付額 131,404円



台風被害：風水害の一部破損【大阪】

屋根の鋼板めくれ・雨漏り・塀の破損
住宅300□・家財100□
掛金年額 24,000円
給付額 172,500円



雪害被害：風水害の一部破損【東京】

積雪による雨どいの破損
住宅132□・家財75□ 掛金年額 12,420円
給付額 287,500円

雪害：風水害の一部破損【新潟】

大雪後の屋根からの落雪でカーポートを破損
住宅200□・家財100□ 掛金年額 18,000円
給付額 172,500円



突然の大雪で夜中にドーンという大きな音がしたと思ったら、雪の重みで車庫のカーポートがつぶれてしまいました。幸い車の被害は免れましたが、修理不能。火災共済の対象になるとのことで、申請書類と写真、当時の天候がわかる情報を提出しました。急な出費でしたが、自分が思っていた以上の共済金があり、とても助かりました。

労働組合のイロハのひとつに共済制度があると言われていました。本当に助け合いの制度があつて良かったです。

(クリクリさん)

あったか 共済 コーナー

近年の異常気象による被害が…

近年、世界中で異常気象による被害が起きています。日本でも、豪雨による川の氾濫や土砂崩れ、冬は豪雪による交通災害や建物の破損・倒壊など、日常生活に影響を及ぼす自然災害が増加しています。

家屋や家財の破損被害の多くは自然災害によるものといわれています。

福祉保育労共済の「火災共済」がおすすめ

福祉保育労の火災共済も、組合員と家族の生活を支える助け合いから生まれました。

持家の場合は住宅と家財、賃貸の場合は家財が対象で、火災だけではなく、落雷での電化製品の故障、突発的な人為的災害、風水害での被害などでも給付されます。※風水害の場合は、建物の損害に応じた給付で、100□までです。

いつ何が起こるかかわからないご時世、心と身体、そして我が家の備えもまとめて福祉保育労共済へ！

詳しくは、福祉保育労共済総合パンフレットをご覧ください。